

2018年度（平成30年度）
第3回福山市環境審議会 議事概要

1 日 時

2019年（平成31年）2月22日（金）14:00～15:20

2 場 所

福山市役所 本庁舎6階 60会議室

3 出席委員

西嶋会長，堤副会長，青山委員，赤木委員，栗田委員，園尾委員，
寺澤委員，中尾委員，原田委員，平田委員，藤原委員，村井委員

4 議 事

- (1) 第二次福山市環境基本計画の策定について
 - ・パブリックコメントの実施結果
 - ・第二次福山市環境基本計画（案）
 - ・第二次福山市環境基本計画の策定について（答申）（案）
- (2) （仮称）気候変動対策部会の設置について
- (3) その他

5 議事要旨

- 事務局より，委員定数の半数以上が出席していることが確認された。
- 事務局より，会議は公開で行われることが報告された。
- 事務局より，配布資料に基づき，パブリックコメントの実施結果及び第二次福山市環境基本計画（案）の修正箇所について説明を行った後，審議を行った。
- 事務局より，「第二次福山市環境基本計画の策定について（答申）（案）」について説明し，了承を得た。
- 事務局より，配布資料に基づき，（仮称）気候変動対策部会の設置について説明し，了承を得た。

（意見の概要）

パブリックコメントの実施結果について

- 「(2) 市の考え方を説明するもの」13番の民間活力の導入について，該当箇所「47 ページ 第5章 計画の推進」と書かれているが「48 ページ 第5章 計画の推進」ではないか。

→47 ページを 48 ページに修正する。

第二次福山市環境基本計画（案）について

<基本目標1 低炭素社会の構築（気候変動対策）>

○家庭部門のCO₂が増えている。省エネを意識させるような施策を展開して欲しい。

→市民に対しても、しっかりと啓発・取組をしていきたい。

○事業者については温室効果ガスの削減について大きい分野を占めるため、自主目標を定め、それを測定し公表するような取組を求めていく必要があると思う。

○ISOやエコアクションを取得すると、必ず目標や結果を公表する必要があることから、取得を促進するような取組を検討してもらいたい。

○16 ページのヒートアイランド対策について、蓄熱性の高いアスファルトの駐車場が増えていることから、グリーンカーテンや木陰の設置など、「市街地の緑化」という表現を工夫できないか。

→（計画の内容は現状のままとし、）具体的な事業の中で検討していきたい。

<基本目標2 循環型社会の構築>

○17 ページの環境指標「ごみの排出量」について、1人1日当たり40g減らすのは難しい気がするが、どのように考えているのか。

→目標達成は簡単ではないが、リデュース・リユース・リサイクルの3Rを基本とし、リデュース（ごみの発生抑制）について、しっかり取り組んでいきたい。

<基本目標3 地域環境の保全>

○23 ページのマイクロプラスチック対策についての考えは。

→不法投棄やポイ捨てをさせないなど、プラスチックごみをできるだけ出さないということが施策の基本と考えている。国の動向を踏まえ、問題意識を持って取り組んでいきたい。

○マイクロプラスチックの海への漂着量の把握はしているのか。

→プラスチックの漂着量のデータはない。漂着ごみがどういうメカニズムで流れて来ているのかという詳細なデータもない状況。県主導で湾灘会議というものが組織されていて、その中でも、漂着ごみについては、テーマになっているところ。

○23 ページの環境指標について、光化学オキシダント濃度の目標値が0.01ppmは減としているのは、対策が難しいためと認識している。

→目標達成は簡単ではないが、VOC対策等、しっかりと取り組んでいきたい。

○25 ページの芦田川の一斉清掃等の環境啓発について、市民に意識が伝わっているかどうか、データや情報があるか。

→76 ページの参考資料に第二次福山市環境基本計画を策定するに当たって市民アンケートの結果を掲載している。市民意識の変化について、定期的にアンケートを実施し把握していく。

<重点プロジェクト 1 自転車利用促進プロジェクト>

○36 ページのシェアサイクルの実証事業を削除したのはどのような事情か。

→実証実験ができないか調査を行っていたが、事業採算性が厳しく、事業実施が困難になったと聞いている。

○しまなみ海道もあるので、観光と連携した事業実施が必要ではないか。

<重点プロジェクト 2 将来を見据えたごみ処理体制構築プロジェクト>

○37 ページのエネルギーの有効利用について、どのような地産地消のモデル事業を実施するのか。

→昨年末に「福山未来エナジー」という新電力会社を福山市と民間事業者の出資により設立をした。RDF（ごみ固形燃料）の燃焼によって得られる電力を新電力会社が買い取り、福山市の公共施設に電気を供給する。これにより、エネルギーの地産地消や CO₂ の削減が可能となる。

<計画の推進>

○環境問題に対して影響の大きい産業部門との、連携や協議はどのように行うのか。

→環境審議会の下に気候変動部会を設置する予定であり、事業者の方も入っていただいて、議論していく。

以 上